

➡ いきがい交流センターしみず 29年度 事業報告 ➡

◇概要◇

- 設置主体 松山市
- 運営主体 松山市社会福祉協議会
- 協力団体 清水地区社会福祉協議会、清水地区民生児童委員協議会
- 目的 小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消および心身機能の維持向上を図るための地域交流事業や講座等を実施し、高齢者福祉の向上に資する。
また、福祉、教育関係機関等との連携を図り、松山市民、特に清水地区を中心とした城北エリアに居住、活動する人々の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び相互扶助実践を通して、福祉・学習コミュニティの形成と融合を推進する地域福祉の拠点とする。

◇事業内容◇

地域交流事業「友遊しみず」

高齢者が週2回程度気軽に集まり、創作活動等を通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げるとともに、心身機能の維持向上を図った。また、清水小学校の児童との交流授業や昼食交流を通して異世代間交流を行い、相互への思いやりを深めた。

- 対象者 市内在住の介護保険のサービスを利用していない概ね65歳以上の方
- 開催日時 月・木曜日の10時～15時（祝祭日・年末年始を除く）
- 内容 健康チェック、軽スポーツ、創作活動、俳句、野外レクリエーション
児童との交流授業や昼食交流、楽器「トーンチャイム」演奏活動
- 運営スタッフ 活動援助員(1人)、看護師(1人)、介助員(4人)、協力会員(2人)
※協力会員から年度ごとに介助員を選出する。29年度は25名でシフトを調整。
- 登録利用者数 16(男性1人、女性15人)
- 平均年齢 82.4歳
- 延利用者数 820人 ※開催回数88回（1回の平均利用者数9.3人）



お花見



児童との交流給食



音楽会でトーンチャイム演奏

地域交流事業「交流授業」 清水小学校児童との交流授業

小学校との複合施設であるという特徴を生かし、児童と地区社協関係者や「しみず」の利用者等の地区住民、サポートボランティア(大学生等)との交流活動に積極的に取り組んだ。異世代間で交流することにより、参加者が相互に刺激を受け、生きるエネルギーややさしさ、知恵や技の交換を行い、互いを理解し、思いやる心が育まれた。

※下記の写真タイトルは単元のテーマ

- 交流回数 48回(授業回数)、学校行事(7回)、昼休み時間(233回)
- 延べ人数 5,492人(児童5,171人、教職員321人)
- 内 容 総合的な学習、国語、社会科、生活科、音楽会、6年生を送る会、卒業式等



1年生「なつと遊ぼう」



2年生「がんばったよ発表会」



3年生「古い道具と昔の暮らし」



4年生「ふれあおう心と心」



5年生「職業体験」



6年生「はばたこう」

地域交流事業「地域交流イベント」 清水小ふれあいバザーへの参加

児童やその家族と地域住民との交流の機会を提供することにより、福祉観の醸成と地域コミュニティの育成を図るため、ものづくりを通じた交流の機会を提供した。低学年児童でも作成ができるよう、サポートボランティア(大学生等)が着物の布を事前に切りそろえて彩りよく材料の準備をした。バザー当日は体育館にてオープニングイベントの後、切れ間なく親子づれ等の参加があり、ものづくりを通して児童や地区住民との交流ができた。

- 交流回数 1回
- 内 容 清水小ふれあいバザーへの参加
- 参加人数 80名



清水小ふれあいバザーにて

いきいき未来学事業 いきいき未来学講座／シニアいきいきパソコン塾

●いきいき未来学講座【9回講座】

高齢者のための福祉制度や日常生活に役立つ情報及び適切な介護予防や家族の介護負担軽減のための情報を提供することにより、高齢者やその家族が安心して暮らせる環境づくりを目的に実施した。

- 講 師 各種専門機関、専門家、NPO活動者など
- 内 容 介護保険制度、高齢者施設や福祉サービス、認知症や認知症の介護、詐欺被害、成年後見制度、財産管理や遺言、生前整理、終活など、シニアライフに役立つ内容
- 対 象 者 市内在住の60歳以上の方で全講座受講可能な方
- 受講者数 17人(男性4人、女性13人)
- 延受講者数 94人



いきいき未来学講座

●シニアいきいきパソコン塾【15回講座】

地域における高齢者の生涯学習の機会を提供すると共に、学習の成果を生かした世代間交流をすすめ、地域福祉の向上に資することを目的に実施した。

- 講 師 パソコン総合サポートアドバイザー(松山大学学生)
- 内 容 パソコンの基礎知識、各種文書や年賀状等の作成、表計算、カレンダー等の作成、インターネットの活用方法、メールの送受信等
- 対 象 者 市内在住の60歳以上で全講座受講可能なパソコン初心者で、ノートパソコン(Windows10、word及びexcel2013以上)を持参できる人
- 受講者数 10人(男性5人、女性5人)
- 延受講者数 100人



シニアいきいきパソコン塾

しみずサポートボランティアの活動

若者のボランティアたちが児童に寄り添い、児童と「しみず」を利用する高齢者との橋渡し役として活躍した。児童や「しみず」利用者と昼食を共にしたり、昼休みに児童と関わったりして、普段から異世代交流活動に溶け込んでいた。「しみず」や小学校開催のイベントへの参加・協力だけでなく、ボランティアセンターやしみず職員のコーディネートによるイベントへも参加した。また、他機関主催のボランティア研修会にてサポートボランティア活動の実践報告をするなど、その活動は広がりをもせた。

- 登録者数 11人
(松山大学生9名、社会人2名)
- 活動日数 198日
- 延べ活動者数 580人



昼休みの見守り活動

ふれあい教室

清水地区在住の60歳以上の方を対象とし、「コーラス」「太極拳」「フラダンス」「絵手紙」「茶道」「英会話」「カラオケ」「民謡」「書道」の9教室を開催した。

各教室では、技能向上だけでなく、ふれあいや親睦を深めることを大切にしているため、地域住民同士の助け合い活動にもつながりをみせた。また、夏休みに「夏休みわくわく企画」として、清水小学校の児童を対象に体験講座を実施したり、ゲストティーチャーとして授業に参加したりして児童との交流を深めた。

- 開催回数 280回
- 延べ人数 4,065人 (男性 380人、女性 3,685人)



3年生「名人に学ぼう」

清水地区社会福祉協議会との連携

当センターのコミュニティルームには、清水地区社会福祉協議会の事務局が設置されており、日常業務やミーティングなど地区社協による地域福祉活動の拠点となっている。

また、当センターのコーディネートにより、清水地区社会福祉協議会の執行役員を中心に、地域交流事業「友遊しみず」と児童の交流活動への協力や、地域や人のよさを学ぶ総合的な学習の時間のゲストティーチャーとしての参加など、小学校との様々な交流活動に協力した。

また、県内外の視察対応も多く、その際には、当センター、清水地区社会福祉協議会、小学校の三者が連携・協力して活動及び事業の様子をそれぞれの立場で説明し、他地域の福祉関係機関との情報交換や交流を図った。



3年生「清水のじまん探検隊」



高知市地区社協連合会視察

トーンチャイムボランティアの活動

平成24年に清水地区の協力会員を中心にトーンチャイムボランティアグループ『SKB80 チームK&チームB』が結成され、月4～5回自主練習を行っている。清水地区社会福祉協議会でも承認され、市内のグループホームや施設のデイサービス、サロン等でトーンチャイム演奏等のボランティア活動を実施した。

□参加者 8人 / 延べ人数 714人

□活動実績 38件（福祉関係施設29件、学校2件、その他7件）



トーンチャイム演奏
「ふれあいの祭典」にて

松山市地域包括支援センター城西・勝山との連携

同施設 1 階には、松山市地域包括支援センター城西・勝山があり、地域交流事業「友遊しみず」利用者家族からの介護相談には同席をしていただき、しみず職員とともに必要な支援を継続して行っている。また、地域包括ケア会議に参加する等、連携を図ることにより、地域福祉の拠点機能がさらに広がりを見せた。

平成 29 年度 いきがい交流センターしみず 利用者数

事業名	延人数(人)
地域交流事業「友遊しみず」	820
清水小学校児童との交流事業等（授業&行事 55 件）	5,492
地域交流イベント（清水小ふれあいバザー参加）	80
清水小学校児童との昼食時間と昼休みの交流 （昼食交流 1,039 人、昼休み 272 人）	1,311
しみずサポートボランティアの活動（198 件）	580
いきいき未来学講座・シニアいきいきパソコン塾	194
ふれあい教室	4,065
トーンチャイムボランティアの活動	714
清水地区社協会議等	623
清水地区社協役員等による業務	635
しみず祭 15 周年記念祭	600
視察、実習、取材など（14 件）	293
合計	15,407